

令和元年 第4回

# 戸田市教育委員会定例会

令和元年8月19日（月）午後2時30分

戸田市役所3階教育委員室

戸田市教育委員会

# 第4回教育委員会（定例会）次第

## 1 開会

## 2 前回の会議録の承認

## 3 教育委員提案 別添 資料No.1のとおり

## 4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

## 5 議事

ページ

### (1) 専決処理事項の報告

報告第10号 戸田市立図書館条例の一部を改正する条例（案）について…………… 1

報告第11号 教職員の処分について……………当日配付

### (2) 議案

議案第 5号 令和2年度使用小学校・中学校用教科用図書（各教科）採択に  
ついて……………当日配付

## 6 その他

### (1) 次回の教育委員会の日程（案）

令和元年9月18日（水）午前9時30分～

### (2) その他

## 7 閉 会

戸田市立図書館条例の一部を改正する条例（案）

戸田市立図書館条例(昭和58年条例第3号)の一部を次のように改正する。

第2条第1項の表中「戸田市立図書館」を「戸田市立中央図書館」に改め、同条第2項中「図書館」を「戸田市立中央図書館（以下「中央図書館」という。）」に改め、同項の表中戸田市立図書館新曽配本所の項を削る。

第6条を次のように改める。

（休館日）

第6条 図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に定めることができる。

区分	休館日
戸田市立中央図書館、戸田市立図書館下戸田分室及び戸田市立図書館美笹分室	(1) 毎月の第2月曜日、第4月曜日及び第5月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。） (2) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで (3) 館内整理日（毎月末日。ただし、その日が日曜日、土曜日又は休日である場合を除く。以下同じ。） (4) 特別整理期間（毎年1回15日以内で教育委員会が定める日。以下同じ。）
戸田市立図書館上戸田分館	(1) 毎月の第3月曜日（その日が休日である場合を除く。） (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで (3) 館内整理日 (4) 特別整理期間
戸田市立図書館下戸田南分室	(1) 毎月の第1火曜日、第3火曜日及び第5火曜日（その日が休日である場合を除く。）

	(2) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで (3) 館内整理日 (4) 特別整理期間
戸田市立図書館戸田公園駅前配本所	(1) 戸田市行政センター条例（平成22年条例第1号）第7条の表アの項に規定する戸田市戸田公園駅前出張所の休所日 (2) 特別整理期間

第8条の見出しを「(図書館運営協議会)」に改め、同条第1項中「法第14条の図書館協議会として」を「図書館の円滑な運営を図るため」に、「戸田市立図書館・郷土博物館協議会（以下「図書館・郷土博物館協議会」を「戸田市立図書館運営協議会（以下「協議会」に改め、同条第2項を次のように改める。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者
- (4) 公募による市民

第8条第3項中「10人」を「10人以内」に改める。

附則第2項を削り、附則第1項の見出し及び項番号を削る。

#### 附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

(準備行為)

2 この条例の施行日前であっても、改正後の戸田市立図書館条例の実施のために必要な準備行為を行うことができる。

(戸田市立郷土博物館条例の一部改正)

3 戸田市立郷土博物館条例（昭和58年条例第4号）の一部を次のように改正する。

第9条を次のように改める。

(博物館協議会)

第9条 法第20条に基づき、郷土博物館に戸田市立郷土博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者
- (4) 公募による市民

3 委員の定数は、10人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任を妨げない。

戸田市立図書館条例新旧対照表

改正前	改正後(案)																		
<p>第1条 (略) (名称及び位置)</p>	<p>第1条 (略) (名称及び位置)</p>																		
<p>第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。</p>	<p>第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="159 469 584 521">名称</th> <th data-bbox="584 469 1135 521">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="159 521 584 574">戸田市立図書館</td> <td data-bbox="584 521 1135 574">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	戸田市立図書館	(略)	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1153 469 1579 521">名称</th> <th data-bbox="1579 469 2130 521">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1153 521 1579 574">戸田市立中央図書館</td> <td data-bbox="1579 521 2130 574">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	戸田市立中央図書館	(略)										
名称	位置																		
戸田市立図書館	(略)																		
名称	位置																		
戸田市立中央図書館	(略)																		
<p>2 <u>図書館</u>に次の分館、分室及び配本所を置く。</p>	<p>2 <u>戸田市立中央図書館</u>（以下「中央図書館」という。）に次の分館、分室及び配本所を置く。</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="159 703 584 756">名称</th> <th data-bbox="584 703 1135 756">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="159 756 584 809">戸田市立図書館上戸田分館</td> <td data-bbox="584 756 1135 809">戸田市上戸田2丁目21番1号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 809 584 861">(略)</td> <td data-bbox="584 809 1135 861">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 861 584 981">戸田市立図書館戸田公園駅前配本所</td> <td data-bbox="584 861 1135 981">戸田市本町4丁目15番11号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 981 584 1034">戸田市立図書館新曽配本所</td> <td data-bbox="584 981 1135 1034">戸田市大字新曽1395番地</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	戸田市立図書館上戸田分館	戸田市上戸田2丁目21番1号	(略)	(略)	戸田市立図書館戸田公園駅前配本所	戸田市本町4丁目15番11号	戸田市立図書館新曽配本所	戸田市大字新曽1395番地	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1153 703 1579 756">名称</th> <th data-bbox="1579 703 2130 756">位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1153 756 1579 809">戸田市立図書館上戸田分館</td> <td data-bbox="1579 756 2130 809">戸田市上戸田2丁目21番1号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1153 809 1579 861">(略)</td> <td data-bbox="1579 809 2130 861">(略)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1153 861 1579 981">戸田市立図書館戸田公園駅前配本所</td> <td data-bbox="1579 861 2130 981">戸田市本町4丁目15番11号</td> </tr> </tbody> </table>	名称	位置	戸田市立図書館上戸田分館	戸田市上戸田2丁目21番1号	(略)	(略)	戸田市立図書館戸田公園駅前配本所	戸田市本町4丁目15番11号
名称	位置																		
戸田市立図書館上戸田分館	戸田市上戸田2丁目21番1号																		
(略)	(略)																		
戸田市立図書館戸田公園駅前配本所	戸田市本町4丁目15番11号																		
戸田市立図書館新曽配本所	戸田市大字新曽1395番地																		
名称	位置																		
戸田市立図書館上戸田分館	戸田市上戸田2丁目21番1号																		
(略)	(略)																		
戸田市立図書館戸田公園駅前配本所	戸田市本町4丁目15番11号																		
<p>第3条～第5条 (略) <u>(休館日)</u></p>	<p>第3条～第5条 (略) <u>(休館日)</u></p>																		
<p>第6条 <u>図書館の休館日は、次のとおりとする。</u></p>	<p>第6条 <u>図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に定めることができる。</u></p>																		
<p>(1) <u>毎月の第2月曜日、第4月曜日及び第5月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3</u></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1153 1350 1541 1402">区分</th> <th data-bbox="1541 1350 2130 1402">休館日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1153 1402 1541 1450"></td> <td data-bbox="1541 1402 2130 1450"></td> </tr> </tbody> </table>	区分	休館日																
区分	休館日																		

改正前	改正後(案)	
<p>条に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。）</p> <p>(2) <u>前号の規定にかかわらず、分館にあつては毎月の第3月曜日（その日が休日である場合を除く。）、戸田市立図書館下戸田南分室にあつては毎月の第1火曜日、第3火曜日及び第5火曜日（その日が休日である場合を除く。）、戸田市立図書館戸田公園駅前配本所にあつては戸田市行政センター条例（平成22年条例第1号）第7条の表アの項に規定する戸田市戸田公園駅前出張所の休所日</u></p> <p>(3) <u>1月1日から同月4日（分館は、同月3日）まで及び12月29日から同月31日まで</u></p> <p>(4) <u>館内整理日（毎月末日。ただし、その日が日曜日、土曜日又は休日である場合を除く。）</u></p> <p>(5) <u>特別整理期間（毎年1回15日以内）</u></p> <p>(6) <u>その他教育委員会が必要と認めた日</u></p>	<p><u>戸田市立中央図書館、戸田市立図書館下戸田分室及び戸田市立図書館美笹分室</u></p>	<p>(1) <u>毎月の第2月曜日、第4月曜日及び第5月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。）</u></p> <p>(2) <u>1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで</u></p> <p>(3) <u>館内整理日（毎月末日。ただし、その日が日曜日、土曜日又は休日である場合を除く。以下同じ。）</u></p> <p>(4) <u>特別整理期間（毎年1回15日以内で教育委員会が定める日。以下同じ。）</u></p>
	<p><u>戸田市立図書館上戸田分館</u></p>	<p>(1) <u>毎月の第3月曜日（その日が休日である場合を除く。）</u></p> <p>(2) <u>1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで</u></p> <p>(3) <u>館内整理日</u></p> <p>(4) <u>特別整理期間</u></p>
	<p><u>戸田市立図書館下戸田南分室</u></p>	<p>(1) <u>毎月の第1火曜日、第3火曜日及び第5火曜日（その日が休日であ</u></p>

改正前	改正後(案)	
<p>第7条 (略)</p> <p><u>(図書館協議会)</u></p> <p>第8条 <u>法第14条の図書館協議会として、図書館に戸田市立図書館・郷土博物館協議会（以下「図書館・郷土博物館協議会」という。）を置く。</u></p> <p>2 <u>図書館・郷土博物館協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する。</u></p>		<p><u>る場合を除く。）</u></p> <p>(2) <u>1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで</u></p> <p>(3) <u>館内整理日</u></p> <p>(4) <u>特別整理期間</u></p>
	<p><u>戸田市立図書館戸田公園駅前配本所</u></p>	<p>(1) <u>戸田市行政センター条例（平成22年条例第1号）第7条の表アの項に規定する戸田市戸田公園駅前出張所の休所日</u></p> <p>(2) <u>特別整理期間</u></p>
	<p>第7条 (略)</p> <p><u>(図書館運営協議会)</u></p> <p>第8条 <u>図書館の円滑な運営を図るため、図書館に戸田市立図書館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。</u></p> <p>2 <u>協議会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。</u></p> <p>(1) <u>学校教育及び社会教育の関係者</u></p> <p>(2) <u>家庭教育の向上に資する活動を行う者</u></p> <p>(3) <u>学識経験のある者</u></p> <p>(4) <u>公募による市民</u></p>	



改正前	改正後(案)
<p>3 委員の定数は、<u>10人</u>とする。</p> <p>4・5 (略)</p> <p>第9条～第15条 (略)</p> <p>附 則</p> <p><u>(施行期日)</u></p> <p>1 この条例は、昭和58年4月1日から施行する。</p> <p><u>(休館)</u></p> <p>2 <u>第2条第1項の表の戸田市立図書館は、当分の間、休館する。</u></p> <p>附 則 (略)</p>	<p>3 委員の定数は、<u>10人以内</u>とする。</p> <p>4・5 (略)</p> <p>第9条～第15条 (略)</p> <p>附 則</p> <p>この条例は、昭和58年4月1日から施行する。</p> <p>附 則 (略)</p> <p>附 則</p> <p><u>(施行期日)</u></p> <p>1 <u>この条例は、令和2年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。</u></p> <p><u>(準備行為)</u></p> <p>2 <u>この条例の施行日前であっても、改正後の戸田市立図書館条例の実施のために必要な準備行為を行うことができる。</u></p> <p><u>(戸田市立郷土博物館条例の一部改正)</u></p> <p>3 <u>戸田市立郷土博物館条例(昭和58年条例第4号)の一部を次のように改正する。</u></p> <p><u>第9条を次のように改める。</u></p> <p><u>(博物館協議会)</u></p>

改正前	改正後(案)
	<p><u>第9条 法第20条に基づき、郷土博物館に戸田市立郷土博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。</u></p> <p><u>2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。</u></p> <p><u>(1) 学校教育及び社会教育の関係者</u></p> <p><u>(2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者</u></p> <p><u>(3) 学識経験のある者</u></p> <p><u>(4) 公募による市民</u></p> <p><u>3 委員の定数は、10人以内とする。</u></p> <p><u>4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。</u></p> <p><u>5 委員は、再任を妨げない。</u></p>

令和2年度使用小学校用教科用図書選定結果と採択理由案

種目	○書名 ◆発行者	採択理由
国語	○国語 ◆光村図書出版	「ねらい」「見通し」「ふり返り」の学習の流れが明確であり、児童が何を、何のために、どう学ぶのかを意識しながら学習に取り組むことができる。また、実用性や必然性のある「書く」活動や「聞く」ことを重視したコミュニケーションなど、他教科等の学習でも活用できる国語の力を身に付けることができる。
書写	○書写 ◆光村図書出版	大事なことが一目でわかるように、イラストや図版に使う色の数や分量を考え、情報を整理したユニバーサルデザインを意識した紙面となっている。課題発見・課題解決、協働的な学び、習得した知識・技能の生活での活用まで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
社会	○新しい社会 ◆東京書籍	「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の問題解決的な学習過程が明確に位置付けられている。また、多様な表現活動に取り組むことができるよう、学習のまとめ方、表現の仕方の事例が豊富に示されている。
地図	○楽しく学ぶ 小学生の地図帳 ◆帝国書院	産業、外国との関わり、歴史、自然災害など多くの情報が内容ごとに整理され掲載されている。また、「地図マスターへの道」、「トライ」等の課題を通して、児童が主体的に地図帳を活用するような工夫がされている。
算数	○新しい算数 ◆東京書籍	児童の吹き出しが多く用いられ、問題に対する新たな問いや統合的・発展的な気付き等を促す工夫がされている。また、算数入門期編の教科書が別冊になっており、問題解決の流れやノート指導などが詳しく写真で示されているなど、児童が使いやすいように工夫されている。
理科	○たのしい理科 ◆大日本図書	実験結果の考察場面や考えをまとめる場面などを中心に、児童同士による対話を重視し、考えを深め、思考力を育成できるように工夫されている。また、観察・実験では、手順が写真や図を使って示されるとともに、気をつける点をポイントマークで示すなど児童が主体的に学習を進められるよう工夫されている。
生活	○新しい生活 ◆東京書籍	注目してほしい点を中心に、写真や挿絵を示すとともに吹き出しを活用して児童が対話しながら学びを深めていくことができる構成になっている。また、保護者向けの注釈や取り外しできる巻末資料などにより、保護者と一緒に学ぶことができるよう工夫されている。

音楽	○小学生の音楽 ◆教育芸術社	歌唱共通教材では、季節ごとの行事、動物や自然に向けた優しい心を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などが取り上げられている。また、全体的に特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮などユニバーサルデザイン化されている
図画工作	○図画工作 ◆開隆堂出版	クリアファイルや紙袋、紙バンドなど、児童にとって身近な材料を扱う題材を多く設定している。また、新たな題材や学びを多く提案するとともに、他教科と関連を図る工夫がされている。
家庭	○わたしたちの家庭科 ◆開隆堂出版	基礎・基本の習得から、応用・発展的な学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れに沿って構成されている。また、課題解決のための写真やイラスト、活動例などが量・質とも無理なく示されるとともに、左利き児童や外国籍児童への配慮、安全・防災やプログラミングに関する新しい資料も盛り込まれている。
保健	○みんなの保健 ◆学研教育みらい	各項の学習内容の多くが見開きでまとめられ、学習の見通しをもつことができる構成となっている。また、健康課題を科学的な視点から捉えた資料が多く、表やグラフ、写真、デジタルコンテンツなどの資料が豊富に掲載されている。
英語	○NEW HORIZON Elementary English Course ◆東京書籍	各Unitの最後に、目的・場面・状況を踏まえて、自分の考えや気持ちを伝え合う活動を設定するなどコミュニケーションを重視した構成になっている。また、語彙や表現をジャンル別でまとめた別冊の冊子が用意され、やり取りや発表等の活動をする際に手元に置いて活用できるなど工夫されている。
道徳	○小学道徳 ゆたかな心 ◆光文書院	主題に迫るための発問や児童一人一人が多角的・多面的に考えるための補助発問が充実しており、「考え、議論する道徳」の実現に向けた工夫がされている。また、書き込みが可能なページが多く、学びの足あとを残すことができ、児童自身が成長を実感し、新たな課題を見つけることができる。

## 令和2年度使用中学校用教科用図書（道徳を除く）選定結果と採択理由案

種	○書名 ◆発行者	採択理由
国語	○国語 ◆光村図書出版	冒頭に、「学習の見通しをもとう」が設定されており、生徒が見通しをもったり、既習事項の確認をしたりすることができる。また、学習したことを、他教科等や日常生活、社会生活に生かすことができるように工夫されている。さらに、道徳教育との連携や、人権教育に対する配慮もされている。
書写	○中学書写 ◆光村図書出版	小学校で学習した書写の基礎的・基本的学習内容を「基礎編」、中学校書写の内容を「学習編」とし、小・中学校の系統性を意識した構成になっている。また、身に付けた書写の力を目的や必要に応じて活用できるように「資料編」が設定され、日常生活での実践を意識した構成になっている。
社会 (地理的分野)	○新編 新しい社会 地理 ◆東京書籍	単元のはじめに「導入資料」を掲載し、日本や世界の様々な地理的事象について生徒が関心をもって、学習に取り組めるように工夫されている。また、問題解決的な学習を進める中で、地図を読むといった基本的な技能や思考力・判断力・表現力を高めることができるように工夫されている。
社会 (歴史的分野)	○新編 新しい社会 歴史 ◆東京書籍	見返しや各単元の導入に、学習内容に関連する写真が豊富に掲載され、生徒の関心や意欲を高めることができるように工夫されている。また、各章のはじめに小学校で学習した内容を表した年表を人物等のイラストとともに掲載され、小学校からの系統性を意識した構成になっている。
社会 (公民的分野)	○新編 新しい社会 公民 ◆東京書籍	章のはじめに、小学校での既習事項の語句がまとめて掲載されており、小学校からの系統性を意識した構成になっている。また、資料やコラムのページが多く設定されており、実際の社会と学習内容を結び付けて考えることができるように配慮されている。
地図	○中学校社会科地図 ◆帝国書院	地域の特色を具体的に読み取ることができるよう、「一般図」「概観図」「資料図」という配列の構成になっているとともに、鳥瞰表現を多く使用し、地形などがとらえやすくなるように工夫されている。また、「やってみよう」が随所に設定され、生徒が主体的に学習できるように工夫されている。

数学	○新編 新しい数学 ◆東京書籍	小学校と中学校の学習内容の系統性を踏まえ、基礎的・基本的な知識や技能等が確実に習得できるような内容構成になっている。また、全ての節の導入に「Qかんがえてみよう」を設定し、生徒の主体的な学習をとおして思考力や表現力を養うことができるように工夫されている。
理科	○新版 理科の世界 ◆大日本図書	教科書のはじめから順に進められる単元配列になっており、観察・実験のしやすい時期や生徒の発達の段階を考慮した構成になっている。また、単元のはじめに小学校の既習内容を想起させる記述があり、小学校からの系統性を重視した構成になっている。
音楽（一般）	○中学音楽 ◆教育芸術社	歌唱教材、鑑賞教材、創作の学習がバランスよく配列されているとともに、系統的に内容が構成されている。また、「My Melody」において、日本の民謡について学習したことをもとに日本の音階を使って旋律づくりにつなげるなど、表現と鑑賞の関連を重視した構成になっている。
音楽（器楽合奏）	○中学生の器楽 ◆教育芸術社	各楽器がバランスよく取り上げられているとともに、教材として十分な楽曲が掲載されている。また、5種類の和楽器を取り上げることにより、我が国の伝統音楽に重点をおいた構成になっている。さらに、挿絵や写真を十分に活用し、視覚的にも理解しやすいように工夫されている。
美術	○美術 ◆開隆堂	アクティブ・ラーニングに関連する「グループで意見を出し合い、発想を広げ、課題に迫る学習」が位置付けられている。また、学習目標や学習の具体的な方法、培うべき資質や能力、学習の振り返りが整理されており、学習全体をとおして美術科の目標が実現できるように工夫されている。
保健体育	○新・中学保健体育 ◆学研教育みらい	「学習の目標」「キーワード」が明示されており、学習の見通しや振り返りがしやすいように工夫されている。また、章末にまとめを設定し、基礎的・基本的な知識の習得を図ることができるように工夫されている。さらに、写真やイラストがバランスよく掲載されている。

技術・家庭 (技術分野)	○技術・家庭（技術分野） ◆開隆堂	今日的な課題である安全教育や環境教育、伝統文化、科学的視点、情報モラルなどを随所に取り上げ、生徒が実践的に学習できるように工夫されている。また、学習の流れや図・イラスト・写真を活用して生徒が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。
技術・家庭 (家庭分野)	○技術・家庭（家庭分野） ◆開隆堂	各内容が、「導入」「基礎学習」「展開」「まとめ・評価」の順で構成され、問題解決的な学習を系統的に進められるように工夫されている。また、学習したことを生かして、よりよく生活するための具体的な手立てを「発展」「探究」と示し、日常生活の中で実践できるように工夫されている。
英語	○SUNSHINE ENGLISH COURSE ◆開隆堂	各セクションの終わりや、2～3 Program ごとに英語で自己表現をする学習を設定し、知識・技能の習得を図ることができるように工夫されている。また、第1学年から第2学年まで小学校の復習を取り上げ、小学校との接続を意識した構成になっている。

# 教育委員提案

令和元年第4回教育委員会(定例会)

令和元年8月19日(月)

戸田市役所3階 教育委員室



# 1 教育委員提案

ページ

- ① 教科担任制の導入について（鈴木委員） ..... 1  
（教育政策室）
- ② 不登校対策の拠点「すてっぷ」について（土肥委員） ..... 9  
（教育政策室）

# 小学校における 教科担任制の導入について

戸田市教育委員会  
教育政策室

# 国の方針・方向性について

## 教科担任制の推進、中教審諮問へ 2019/04/12 日本経済新聞

柴山昌彦文部科学相は12日の閣議後記者会見で、小学校において、特定の教科を専門の教員が複数の学級で教える「教科担任制」を進める考えを示した。2020年度から英語が正式な教科となり、プログラミング教育も必修化される。教員の専門性を高め、授業準備を減らして教員の働き方改革にもつなげる。

柴山氏は17日の中央教育審議会で諮問する。20年末に答申を受け、関係法令を整備する考えだ。



## 中教審「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会」 令和元年6月27日

- ・ 専門的なことが学べるので学力が向上することに加え、子供の心が安定する。子供達が様々な先生に様々な悩みを相談することができ、先生も子供たち一人一人に対応できる。
- ・ 教材の準備に割く時間や労力も縮小できるので、より深く深く教材を整えることができ、働き方改革の観点でも、心のゆとりもできて子供に対峙する時間も増える。
- ・ 検討は、すでに各都道府県において取り組まれているものがあることや、地域的事情によりばらつきがあることを踏まえた議論が必要。
- ・ 小学校の先生間の分担の工夫にとどまってしまうと狭い議論になってしまうため、中学校における教師の在り方や、小学校と中学校の行き来なども検討課題とすることが必要。



# 国の方針・方向性について

令和元年7月24日 合同会議 資料

## 小学校等における教科等の担任制の実施状況【平成30年度計画】

	国語 (書写を除く)	書写	社会	算数	生活	理科	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国語 活動
第1 学年	1.1%	6.6%		1.5%	0.8%		12.2%	4.3%		6.1%	
第2 学年	2.3%	13.5%		2.5%	1.6%		20.7%	9.8%		7.4%	
第3 学年	2.4%	26.8%	6.0%	5.1%		21.6%	40.6%	16.8%		7.7%	11.3%
第4 学年	2.5%	29.7%	7.4%	5.9%		32.3%	47.8%	20.4%		8.4%	12.0%
第5 学年	3.4%	26.6%	14.5%	7.3%		45.1%	54.0%	20.4%	33.9%	9.9%	18.3%
第6 学年	3.5%	26.8%	15.5%	7.2%		47.8%	55.6%	21.0%	35.7%	10.5%	19.3%

本市でも専科として取り組んでいることが多い

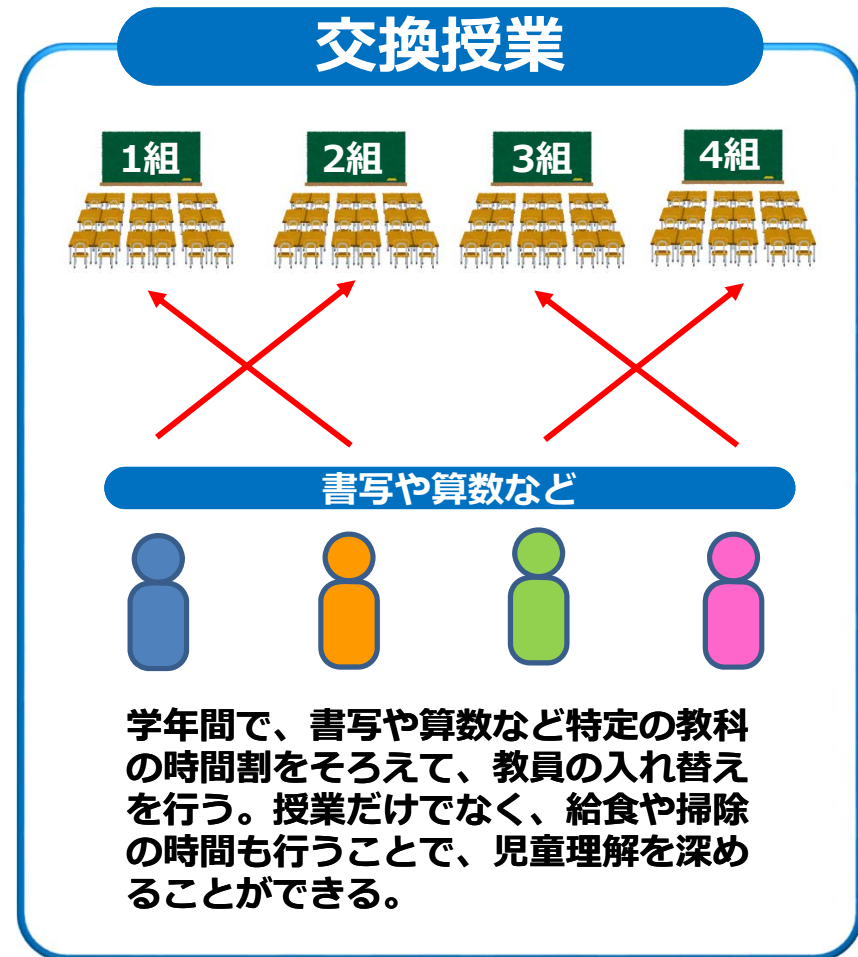
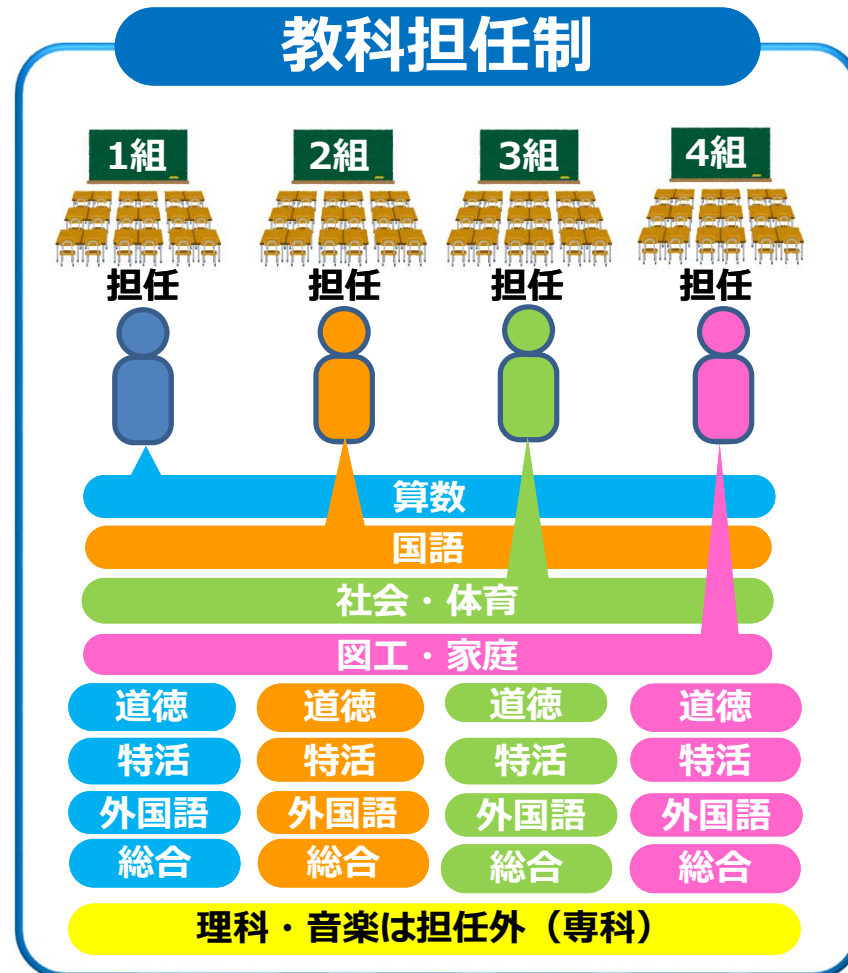
- \*1 ここでの教科等の担任とは、「学級担任以外で、教科等(複数教科を担当することも含む)を主指導する教師」のことである。
- \*2 ここには、以下の様な多様な形態のものを含む(複数の教師が協力して行う指導(TT)で実施する場合も含む。)。
  - ・教員の得意分野を生かして実施するもの。  
(例)あるクラスの担任を持ちながら、得意分野である理科については他のクラスの授業も受け持つ場合。
  - ・中学校・高等学校の教員が兼務して実施するもの。  
(例)地域の中学校の外国語の教員が、第6学年の外国語の時間のみ当該小学校において外国語活動の授業を行う場合。
  - ・非常勤講師が実施するもの。  
(例)音楽の専科教員が、市内の複数の学校を受け持ち、当該小学校の音楽の時間のみ授業を行う場合。
- \*3 各教科等の一部の領域についてのみ教科等担任制を実施している場合も含む。
- \*4 年度途中から教科等担任制を導入する場合も含む。ただし、担任以外の教師による指導が継続的でない(単発で担任以外の教師が指導する等)場合は含まない。

(出典:平成30年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況調査)



# 小学校の教科担任制について

## 取り組み方（例）



※基本的に担任の人数で、持ち時数の偏りなく教科を分ける。

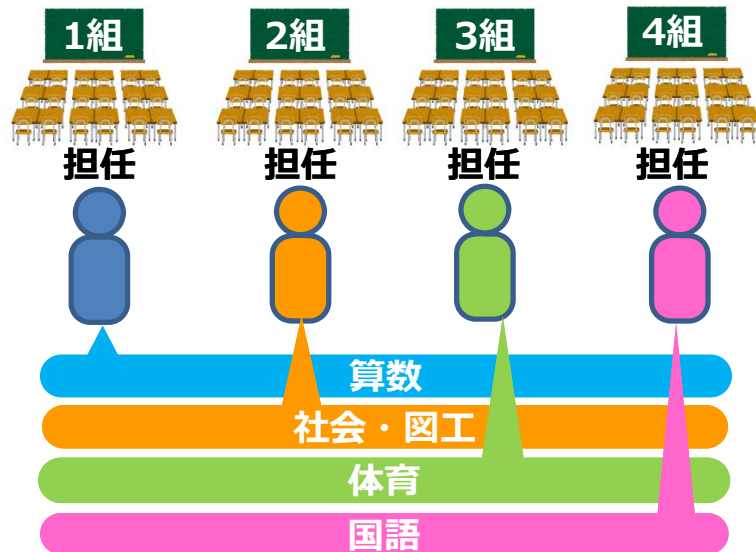


# 小学校の教科担任制について

## 本市での先行的な取組

H16 戸田第一小学校 5年

教科担任制

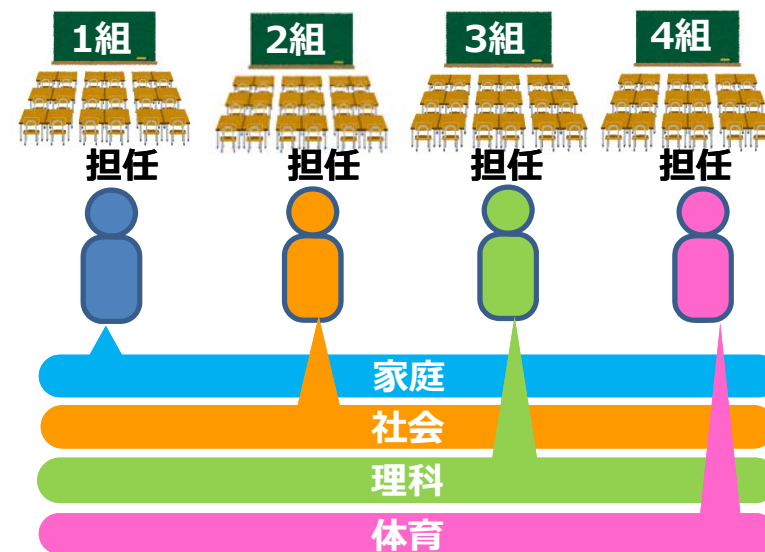


各担任が、時数の偏りが出ないように1教科または2教科を4クラス担当し、それ以外の教科は自学級で行う。この他、少人数指導担当が算数と家庭を担当し、理科・音楽については、担任外の教員が4クラス分を担当した。

※現在は、5・6年生で学年内教科入れ替え制を行っている。

H21 笹目東小学校 5・6年

一部教科担任制



各担任が、週あたりの時数が少ない1教科を4クラス担当し、それ以外の教科は自学級で行う。図工・音楽・外国語については、担任外の教員が4クラス分を担当した。

※昨年度から、H16戸田第一小のような教科担任制を行っている。



# 戸田市で考える教科担任制の期待される効果と諸課題

## 期待される効果

- 担当する教師が教科の**教材研究の負担が減り**、教師自身の**専門性を高められ**、児童は**質の高い授業**を受けることができる。  
※ 4クラス担当していたとして、小学校なら最低4年かかる授業経験が1年で可能。
- 一人の教師が同学年複数クラスの児童の評価をすることで、評価の機会が増え、その結果**学習評価能力が向上**する。
- 高学年では中学校に向け、**スムーズな接続**ができる。
- 生徒指導**に複数の教師が関わるることができる。  
(学級崩壊を防ぎやすい)
- 複数の教師で児童の指導に当たれるため、様々な角度から**児童のよさ**を見付けることができる。

# 戸田市で考える教科担任制の期待される効果と諸課題

## 諸課題

- ▲年度当初、学校全体の**時間割を作成**することが難しい。また、**時間割の急な変更**が難しい。  
(教員の持ち時数をなるべく均等にする点、特別教室の調整という点)
- ▲教科の専門性が高い教師が**配置**できるとは限らない。
- ▲年度替わりで、**受け持つ教科**が変わる場合がある。長年受けもたない教科を、次年度担当する可能性がある。
- ▲教科が固定化されると、**教科に関する他の教師との交流**がなくなり、教科の壁ができることがある。
- ▲担任の時数が限られるため、(担任にとって)一人一人の**児童へ目**が届きにくくなる。
- ▲学年全体に係る**突発的な児童の対応**にかける時間を生み出すには、調整が必要となる。



# 戸田市で考える教科担任制の期待される効果と諸課題

## 期待される効果

教材研究の負担軽減  
専門性の向上  
質の高い授業  
学習評価能力の向上  
複数の教師で生徒指導  
複数の教師でよさの発見  
小・中のスムーズな接続

## 諸課題

時間割作成と急な変更  
年度で受け持つ教科の変更  
専門性の高い教師の配置  
他教師との教科間の交流  
担任の目が届きにくい  
突発的な児童の対応  
小学校での発達段階

国の動向を注視しながら、今後も研究していく。

# 不登校児童生徒のサポート拠点 教育支援センター すてっぷ

戸田市教育委員会  
教育政策室

# 教育支援センター すてっぷの位置付け

## 義務教育の段階における普通教育に相当する 教育の機会の確保等に関する法律（平成28年法律第105号）

### 第三章 不登校児童生徒等に対する教育機会の確保等

第八条～第十条省略

（学習支援を行う教育施設の整備等）

第十一条 国及び地方公共団体は、**不登校児童生徒の学習活動に対する支援を行う公立の教育施設の整備**及び当該支援を行う公立の教育施設における教育の充実のために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

## 不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）

平成28年9月14日 文部科学省

### 3 教育委員会の取組の充実

（3）教育支援センターの整備充実及び活用

1. 教育支援センターを中核とした体制整備

…（略）…**市区町村教育委員会においては、主体的に教育支援センターの整備充実を進めていくことが必要**であり、教育支援センターの設置促進に当たっては、例えば、自治体が施設を設置し、民間の協力の下に運営する**公民協営型の設置**等も考えられること



# 教育支援センター すてっぷの位置付け

## 不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方

不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）から

これまでは・・・

「学校に登校する」という結果を目標

これからは・・・

児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、  
社会的に自立することを目指す

そのために・・・

**教育支援センター**、不登校特例校、フリースクールなどの民間施設、ICTを活用した学習支援など、多様な教育機会を確保



# 教育支援センター すてっぷの位置付け

## ◆これまでは…

### 適応指導教室 ステップ教室

- 退職校長等を非常勤として任用した教育相談指導員が、学習指導（基本的には自主学習）や体験活動を担当していた。
- 学校復帰への意欲を高めることを目標としていた。
- 継続的に通級できる生徒が少なかった。  
（平成30年度の3月終業式段階では、9名が通級）

## 今年度からリニューアル

### 教育支援センター すてっぷ

- 民間事業所への委託による専門的知見を活かした運営へと転換し、常時2～4名の専門性をもつ講師・スタッフが担当する。
- 学校復帰だけでなく学習機会の確保と社会的自立を目標とした。
- 塾講師派遣やサポート校運営の知見を活かした不登校対策の様々なプログラムを実施する。
- 1学期時点で、すでに8名通級していて、体験で9名が参加した。



# 教育支援センター すてっぷの位置付け

## 不登校児童生徒のサポート拠点として

不登校対策について、民間事業者との連携による専門的知見を取り入れた体制の強化を図る

家庭教師や塾の講師の人材斡旋、インターネット学習指導、サポート校運営などの事業を展開する企業と委託契約



児童生徒の**情報共有**  
教員**研修**運営支援  
個に応じた支援方法の**助言**

### サポート校運営の専門的知見

不登校の専門家による**教育相談**  
専門的知見に基づく**アウトリーチ**  
(訪問相談・訪問学習支援)  
連携を図る**保護者会**の実施

### 教育支援センター すてっぷ

教育相談Co、SSW、SC等連携

- 安心して教育を受けられる居場所の確保
- 一人一人の状況に応じた学習支援
- 充実した教育を受けられる環境の整備



学校

児童生徒・家庭に寄り添った**学習・生活支援**  
継続的な**教育相談**



家庭





# 教育支援センター すてっぷの特色について



## 特色1

### 戸田市の不登校対策の拠点



- ◆ 不登校支援の専門的知見を活用した教室運営
- ◆ 居場所、学習に適した環境の整備
- ◆ 不登校支援の専門家による教育相談
- ◆ 教育相談コーディネーター・SSW・SCとの連携
- ◆ 総合的な不登校対策会議・教員研修運営支援



## 特色3

### 不登校児童生徒の保護者支援



- ◆ 保護者の希望に応じた専門家による教育相談
- ◆ 「保護者とともに不登校について考える会」協力
- ◆ すてっぷ通級状況を踏まえた保護者会の実施



## 特色2

### 一人一人に応じた支援プログラム



- ◆ 不登校児童生徒に適したカリキュラム編成
- ◆ 豊かな情操と社会性を育む体験活動  
(農業・体育・調理・絵手紙作成・茶道 等)
- ◆ 個々の可能性を伸ばす先進的な学びの支援  
(プログラミング・STEAM教育)



## 特色4

### アウトリーチ型支援の実践



- ◆ 教育相談コーディネーター、校長、家庭との連携
- ◆ 保護者の希望に応じた家庭訪問支援の実施
- ◆ 個に応じた学習や生活支援プログラムの実施



# すてっぷの時間割

## すてっぷ【6月】時間割

個々の学習状況、進度に応じた個別学習に対応

			月		火		水		木		金		
			小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
1時限	9:30	10:20	個別学習 松村	個別学習 望月	漢字練習 望月		個別学習 西川	個別学習 松村	文章読解 望月	個別学習 松村	個別学習 松村	やり直し英語 西川	
2時限	10:30	11:20	個別学習 望月	個別学習 松村	個別学習 望月	科学	日本と西洋の文化 西川		個別学習 松村	ニュースの時間 望月	個別学習 西川	ディベート 小藺	
3時限	11:30	12:20	頭の体操 望月		文章表現 小藺		個別学習 松村	個別学習 西川	世界遺産 松村		マテマティコ 小藺		
昼休み	12:20	13:05											
4時限	13:05	13:55	調べ学習・発表 田嶋		ゲームの歴史 小藺 望月		アーティストチャレンジ 吉田(西川)		彩の国のいろいろ 村上(望月)		Enjoy the SOUND 西川(小藺)		
5時限	14:00	14:50	計算練習 松村	やり直し数学 田嶋	ゲーム実技 昭和vs平成 小藺								
ホーム ルーム	14:50	15:00	松村(望月)(西川)										
放課後	15:00	16:00	田嶋				西川、吉田				西川、小藺		

6/6,13,20,27(木) 10:00~12:00 農業体験(草取り含む) 6/4,18(火) 10:00~12:00 体育体験 6/21 調理体験  
6/28 STEAM

子供達の意欲を高める活動等

社会性や情操をはぐくむ様々な体験活動等





# すてっぷの様々な活動



プログラミング・STEAM教育



農業体験（年間10回）



ディベート



音楽



国語



パステル画作成



調理実習



# 今後の課題・展望について

## 課題

- **参加人数**と**活動スペース**について  
→ 3階教育研究室やロビーを活用
- **個別学習の望む生徒**への対応
- 家庭への**アウトリーチ型支援**

## 今後の展望

- 各校への**学校内すてっぷ**や  
公民館等への**地域すてっぷ**の設置



# 報告事項

令和元年第4回教育委員会(定例会)

令和元年8月19日(月)

戸田市役所3階 教育委員室

# 1 報告事項

ページ

- ① 令和元年度全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果概要について…… 1  
(教育政策室)
- ② 戸田市サイエンスフェスティバル実施報告について…………… 7  
(教育政策室)
- ③ 彩湖自然学習センターの3年改善プロジェクトについて…………… 10  
(生涯学習課)
- ④ 令和元年度第1回戸田市海外留学奨学生について…………… 14  
(教育総務課)
- ⑤ その他



令和元年度 全国学力・学習状況調査結果【戸田市】

戸田市教育委員会教育政策室

	小学校6年生			中学校3年生		
	戸田市	全国	埼玉県	戸田市	全国	埼玉県
国語	67	63.8	64	73	72.8	73
算数・数学	70	66.6	66	60	59.8	59
英語				60	56	56

(平均正答率 単位 %)

<昨年度の結果との比較>

平成30年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	73.0	70.7	71.0	2.3
国B	55.0	54.7	54.0	0.3
算A	64.0	63.5	62.0	0.5
算B	53.0	50.0	51.5	3.0

昨年度までは、A問題とB問題がありましたが今年度から1つの問題に統合されました。

令和元年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	67.0	63.8	64.0	3.2
算	70.0	66.6	66.0	3.4

平成30年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	75.0	76.1	75.0	-1.1
国B	60.0	61.2	61.0	-1.2
数A	69.0	66.1	65.0	2.9
数B	49.0	46.9	47.0	2.1

昨年度までは、A問題とB問題がありましたが今年度から1つの問題に統合されました。

令和元年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	73.0	72.8	73.0	0.2
数	60.0	59.8	59.0	0.2

<同じ児童生徒集団での比較>

平成28年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国A	74.4	72.9	71.6	1.5
国B	58.8	57.8	56.7	1.0
算A	79.9	77.6	75.9	2.3
算B	49.2	47.2	46.3	2.0



令和元年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	73.0	72.8	73.0	0.2
数	60.0	59.8	59.0	0.2

同じ集団の3年後は…

とだっ子の学習状況について

今年度より、従来の「主として『知識』に関する問題（A問題）」と「主として『活用』に関する問題（B問題）」の区分が見直され、一体的な調査問題となりました。本市では小学校・中学校とも、すべてにおいて国の平均正答率を上回る結果でした。特に、小学校においては高い水準で基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていることがわかります。中学校では、昨年度、全国平均を下回っていた国語において、平均を多少上回る結果となりました。数学においても、全国平均を上回っております。また、英語においては、全国平均を大幅に上回る結果となりました。



今後は、苦手分野の克服とともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善をさらに実施してまいります。

# 令和元年度 埼玉県学力・学習状況調査結果【戸田市】

戸田市教育委員会教育政策室

## 埼玉県と戸田市の令和年度平均正答率の比較

	小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生			中学校1年生			中学校2年生			中学校3年生		
	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較
国語	56.3	<b>60.1</b>	3.8	52.3	<b>56.9</b>	4.6	62.2	<b>65.3</b>	3.1	63.3	<b>64.9</b>	1.6	59.3	<b>61.9</b>	2.6	53.4	<b>55.9</b>	2.5
算数・数学	70.2	<b>74.5</b>	4.3	68.2	<b>71.8</b>	3.6	61.5	<b>65.3</b>	3.8	59.8	<b>62.7</b>	2.9	59.8	<b>63.9</b>	4.1	58.2	<b>61.8</b>	3.6
英語													56.3	<b>61.4</b>	5.1	55.8	<b>60.6</b>	4.8

(平均正答率 単位 %)

- 全ての学年、教科、領域等において、県の平均正答率を2～5ポイント程度上回っている。
- 英語はおよそ5ポイント上回っている。
- 算数数学では、およそ3ポイント以上、どの学年でも県平均を上回っている。

## 埼玉県と戸田市のH29～R01(過去3年間)の学力のレベルの伸びの比較

		小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生				中学校1年生				中学校2年生				中学校3年生			
		R01	学力の伸び	H30	R01	学力の伸び	H29	H30	R01	学力の伸び	H29	H30	R01	学力の伸び	H29	H30	R01	学力の伸び	H29	H30	R01	学力の伸び	
国語	埼玉県	5-A		6-C	6-B	1	6-C	6-A	7-B	2→2	6-A	7-B	8-C	2→2	7-B	8-C	8-B	2→1	8-C	8-B	8-A	1→1	
	戸田市	<b>6-C</b>		<b>6-B</b>	<b>6-A</b>	<b>1</b>	<b>6-A</b>	<b>7-C</b>	<b>7-A</b>	<b>1→2</b>	<b>7-C</b>	<b>7-A</b>	<b>8-C</b>	<b>2→1</b>	<b>7-A</b>	<b>8-C</b>	<b>8-A</b>	<b>1→2</b>	<b>8-B</b>	<b>8-A</b>	<b>9-C</b>	<b>1→1</b>	
算数・数学	埼玉県	5-B		5-B	6-B	3	5-B	6-C	6-A	2→2	6-B	6-A	7-B	1→2	6-A	7-B	8-C	2→2	7-B	7-A	8-B	1→2	
	戸田市	<b>6-C</b>		<b>5-A</b>	<b>6-A</b>	<b>3</b>	<b>5-A</b>	<b>6-B</b>	<b>7-B</b>	<b>2→3</b>	<b>6-A</b>	<b>7-C</b>	<b>7-A</b>	<b>1→2</b>	<b>7-C</b>	<b>7-A</b>	<b>8-B</b>	<b>2→2</b>	<b>7-A</b>	<b>8-C</b>	<b>8-A</b>	<b>1→2</b>	
英語	埼玉県																9-C			<b>8-A</b>	10-C	<b>4</b>	
	戸田市																<b>9-A</b>			<b>9-C</b>	<b>10-B</b>	<b>4</b>	

(学力のレベルについては、次ページ参照)

○戸田市では、昨年度と同様、高い学力のレベルを維持しつつ、更に児童生徒の学力を伸ばすことができた。

▲全ての学年・教科の中で唯一、中1の国語の学力レベルだけは、県平均と等しく伸びは1(県平均は2)であった。(H30小6→R01中1)

# H29～R01の学力のレベルの推移(赤矢印H30→R01の伸び)

## 国語

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル11、12 省略						
レベル10						
レベル9						H28H29 H30 <b>R01</b>
レベル8				H27H29 <b>R01</b>	H28H29	
レベル7		H27	H27H28 H29H30 <b>R01</b>			
レベル6	H29 H28H30 <b>R01</b>					
レベル5	H27					
レベル1～レベル4 省略						

## 算数・数学

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル11、12 省略						
レベル10						
レベル9						H28 H29H30 <b>R01</b>
レベル8					H29 <b>R01</b> H27H28 H30	
レベル7			H28 <b>R01</b> H27H29 H30	H27		
レベル6		H27H28 H29H30 <b>R01</b>				
レベル5		H27H28 H29H30				
レベル1～レベル4 省略						

## 英語

	中2	中3
レベル11、12 省略		
レベル10		H30 H29 <b>R01</b> H28
レベル9	H27 <b>R01</b> H28H29 H30	
レベル8		
レベル7		
レベル6		
レベル5		
レベル1～レベル4 省略		

# 【参考】学力のレベルについて

## ①各帳票における学力のレベルについて

レベル	レベル(3分割)	数値
レベル12	12-A	36
	12-B	35
	12-C	34
レベル11	11-A	33
	11-B	32
	11-C	31
レベル10	10-A	30
	10-B	29
	10-C	28
レベル9	9-A	27
	9-B	26
	9-C	25
レベル8	8-A	24
	8-B	23
	8-C	22
レベル7	7-A	21
	7-B	20
	7-C	19
レベル6	6-A	18
	6-B	17
	6-C	16
レベル5	5-A	15
	5-B	14
	5-C	13
レベル4	4-A	12
	4-B	11
	4-C	10
レベル3	3-A	9
	3-B	8
	3-C	7
レベル2	2-A	6
	2-B	5
	2-C	4
レベル1	1-A	3
	1-B	2
	1-C	1

**レベルとは**  
 「学力推定結果の平均値(=能力値)」を、学力を測定する尺度上で一定の間隔で分割して表したものです。

①学力のレベルは、小学校4年生から中学校3年生まで12のレベルに分割して表しています。

②1つのレベルをさらに3分割し、上から順にA,B,Cで表しています。

③レベル(3分割)と数値の対応は表の通りです。

④「01.教科に関する調査採点結果」等に記載されている学力レベルは、左の表の「レベル(3分割)」で記載しています。

⑤「01.教科に関する調査採点結果」等に記載されている学力の伸びは、学力のレベルを左の表の「数値」に変換し、その差分を記載しています。

## 各学年ごとのレベルの範囲

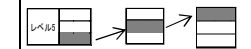
	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル12						
レベル11						
レベル10						
レベル9						
レベル8						
レベル7						
レベル6						
レベル5						
レベル4						
レベル3						
レベル2						
レベル1						

学力のレベル表記は、1～12段階ありますが、測定は各学年7レベルの間で行います。  
 各学年の測定範囲は、各学年を縦に見た白い部分です。

学年	学力のレベル
小学校4年生	レベル1～レベル7
小学校5年生	レベル2～レベル8
小学校6年生	レベル3～レベル9

学年	学力のレベル
中学校1年生	レベル4～レベル10
中学校2年生	レベル5～レベル11
中学校3年生	レベル6～レベル12

1つのレベルは、それぞれ3層に分かれています。同じレベルの中で、スモールステップの伸びを表します。  
 例えば、同じレベル5の中でも、学力のレベルが高くなるとバーの位置が変わります。

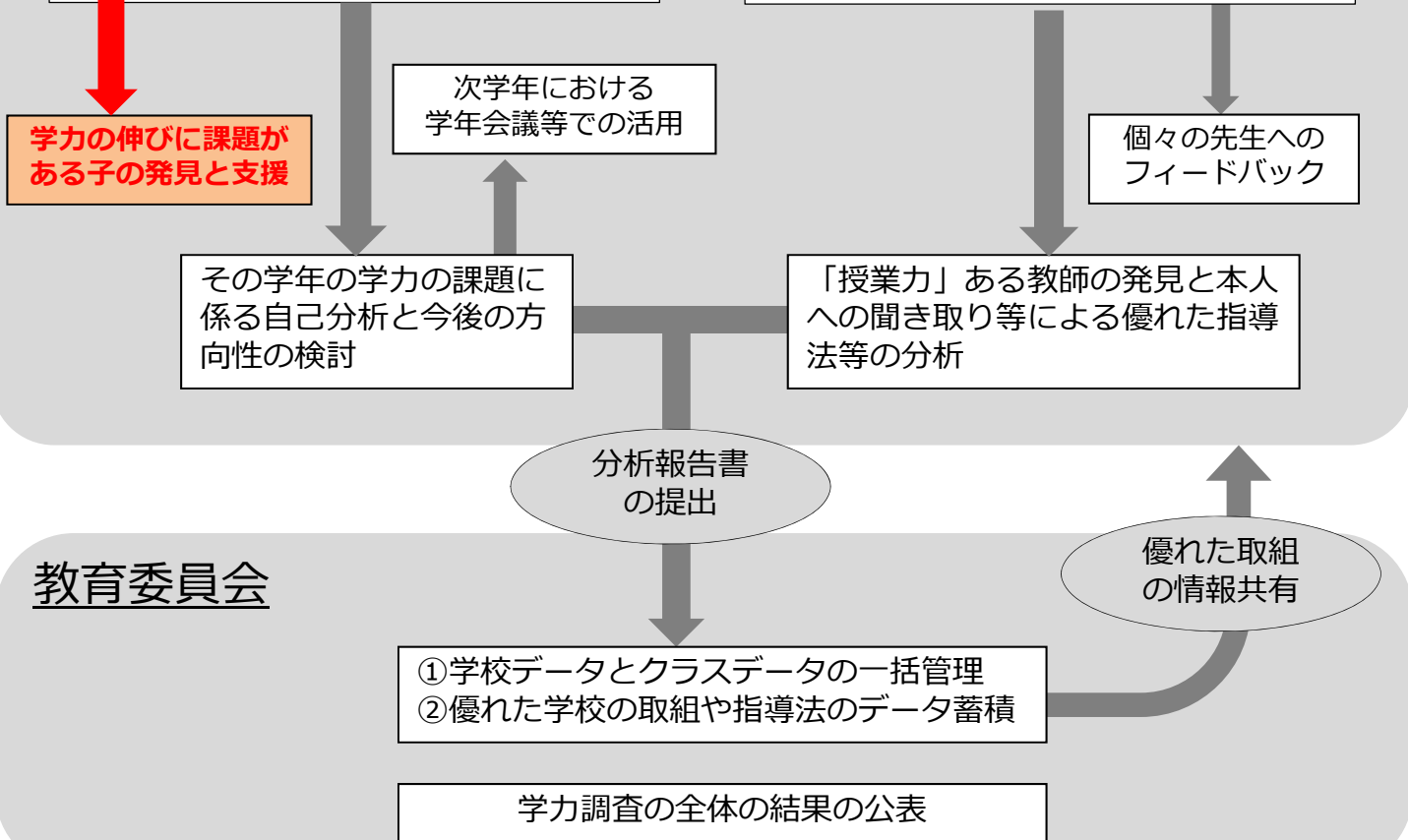
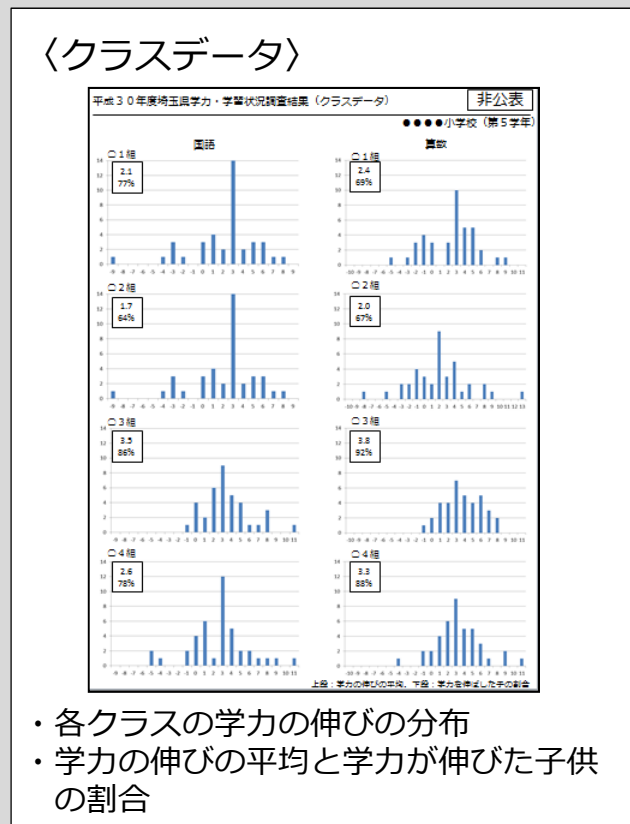
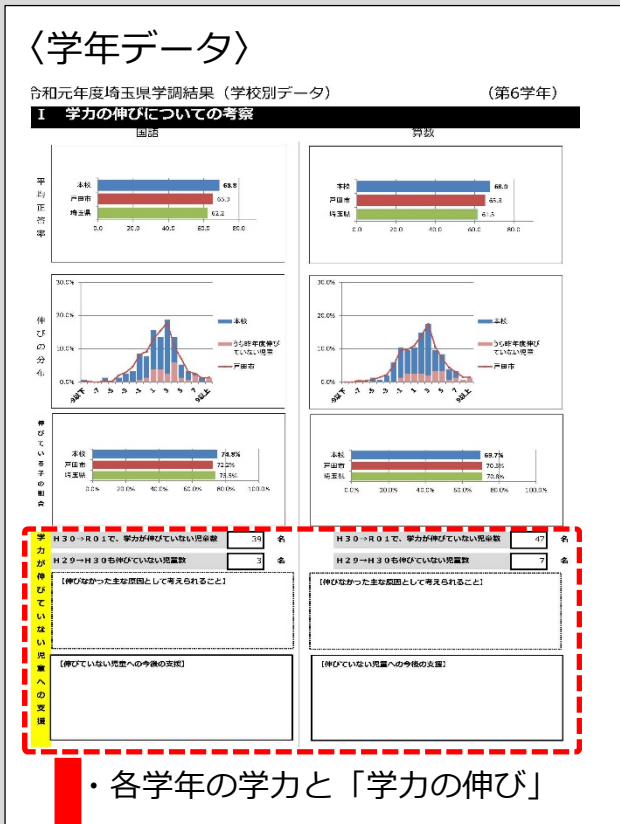


前学年でのバーの位置と、今回のバーの位置を比べると、学力の変化が分かります。



# 埼玉県学力・学習状況調査の活用（戸田市作成資料）

## 学校



## 教育委員会

## 「学力向上プラン」の見直しについて

昨年度、アクティブ・ラーニングの視点に立った組織的な授業改善を中心とした学校経営改善の枠組みの中で「学力向上プラン」を捉え直し、以下の方針に沿って作成してきた。

本年度は、各種学力調査等の結果分析、現在新たに抱える課題等を踏まえた上で、見直しを図る。その際、必ず昨年度の『取組』に対する評価をし、今後取り組むべき取組を見出していく。

### 「学力向上プラン」作成の方向性

- ・本プランの策定を、学校の目標や課題について全教職員で話し合う契機に。
- ・一般的な事項は削除し、その学校の特色がわかるものに。
- ・保護者を含め一般の方にも学校経営の全体像がわかるよう、極力シンプルに。
- ・指導用ルーブリックをベースとしたアクティブ・ラーニングの推進の観点からの授業改善のための取組を、重要事項として必ず盛り込む。
- ・本プランを学校運営の軸として継続的に見直していく。



### 本年度の改善点について

○昨年度の取組の成果に対する評価を行い、どのような取組が有効で効果的であったかを分析する。

(埼玉県学調、全国学調、授業がわかるできる調査の結果分析等を基に)

○新たに行っていく取組について、プラン全体の中での位置付けや目的との結び付きを明確にする。

## 戸田市サイエンスフェスティバル2019～子ども大学とだ～について（報告）

芦原小学校において、「戸田市サイエンスフェスティバル2019～子ども大学とだ～」を開催いたしましたので、次の通り報告いたします。

## 1 実施日時

令和元年7月20日（土） 13：15～16：00

## 2 参加人数

児童生徒数……600人

保護者・幼児…556人 合計1156人（昨年度906人）

## 3 講座名及び参加団体

No.	講座名	団体名	参加数
①	「紙でもできるプログラミング」	グリーンガーディアンズ 西塔 幸由 氏 他1名	2回
②	「～ガス管のリサイクル～万華鏡づくり」	東京ガス株式会社埼玉支社 明石 敬一 氏 他1名	5回
③	「リニアモーター」	科学クラブ・彩ねっと 川名 英二 氏 他2名	4回
④	「自分のDNAをみてみよう」	日本薬科大学 和田 重雄 氏 他2名	2回
⑤	かんたん！ロボットプログラミング	エルプレイス 玉水 亘 氏	3回
⑥	物理面白実験（ガウスの加速器ほか）	埼玉大学教育学部 近藤 一史 氏 他学生3名	11回
⑦	「わくわく科学工作」	戸田市理科教育研究部	9回
⑧	「実験！微生物のはたらき」	株式会社インセプタム 返町 洋祐 氏 他2名	新規
⑨	飛ぶタネの模型づくり	彩湖自然学習センター 学芸員 當麻 景一 氏 他4名	11回
⑩	プログラミング「ビスケット」を使って自分で描いた絵を動かして遊ぼう	Code for TODA 伊藤 利昭 氏 他3名	4回
⑪	「電子ほたるを作ろう」	travelling museum 博物倶楽部 島津 斉明 氏 他3名	5回
⑫	「パソコンでロボットを動かそう！」	株式会社ナリカ 染谷 大介 氏	10回
⑬	「理科自由研究相談会」	戸田市理科教育研究部	11回
⑭	ミクロの世界をのぞこう ～顕微鏡を使った観察～	戸田市理科ボランティア	11回
⑮	「おもしろ理科体験」	株式会社ケニス・東和産商 戸田市理科ボランティア	9回

## 4 各講座の様子

<p>①「紙でもできるプログラミング」 【グリーンガーディアンズ】</p> <p>フローチャートを使ってアイデアを整理しました。紙でプログラミングを体験しました。</p> 	<p>②「～ガス管のリサイクル～万華鏡づくり」 【東京ガス株式会社 埼玉支社】</p> <p>不要になったガス管を再利用してオリジナルの万華鏡をつくりました。</p> 
<p>③「リニアモーター」 【科学クラブ・彩ねっと】</p> <p>磁石を並べた上に、二本のアルミパイプ電線を作り、電気を流すと真横に動く装置を作って実験しました。</p> 	<p>④「自分のDNAをみてみよう」 【日本薬科大学】</p> <p>ヒトのDNAとして、自分のDNAを頬（ほほ）から取り出し、親子や兄弟が似ているしくみを考えました。</p> 
<p>⑤「かんたん！ロボットプログラミング」 【エルプレイス】</p> <p>タブレットでプログラミングしたロボットを動かして、ミッションに挑戦しました。</p> 	<p>⑧「ガウス加速器の実験とファラデーモータの作製」 【埼玉大学教育学部】</p> <p>レールの上に置いてある鉄球に、別の鉄球をぶつけるとどうなるかを実験を通して考えました。</p> 
<p>⑦「わくわく 科学工作」 【戸田市理科教育研究部】</p> <p>いろいろな色のスライムを作ったり、ペーパークラフトを体験したりしました。</p> 	<p>⑧「実験！微生物のはたらき」 【株式会社インセプタム】</p> <p>身の回りの微生物について考えました。ここでは、パン酵母に砂糖を食べさせ、どんなことが起きるのか実験しました。</p> 
<p>⑨「昆虫クラフト&amp;飛ぶタネの模型づくり」 【彩湖自然学習センター】</p> <p>身近にある物でトンボやチョウ、不思議な飛ぶタネの模型を作りました。昆虫やザリガニなどの生き物も観察しました。</p> 	<p>⑩「プログラミング「ビスケツト」を使って自分で描いた絵を動かして遊ぼう」 【Code for TODA】</p> <p>プログラミング教材「ビスケツト」でパソコン画面上に描いた絵を動かして楽しみました。</p> 

<p>⑪「電子ほたるを作ろう」 【travelling museum 博物倶楽部】 ホテルの生態について学び、LEDとボタン電池で光が点滅するほたるのおもちゃを作りました。</p> 	<p>⑫「パソコンでロボットを動かそう！」 【株式会社ナリカ】 タブレットでプログラムを組み、ロボットが目的の動作ができるように試行錯誤しました。</p> 
<p>⑬「理科自由研究相談会」 【戸田市理科教育研究部】 自由研究の進め方について理科の先生からアドバイスをもらいました。</p> 	<p>⑭「ミクロの世界をのぞこう」 【運営協力教員】 小さな生き物の様子、普段見ることのできないミクロの世界を観察しました。</p> 
<p>⑮「おもしろ理科体験」 【株式会社ケニス・運営協力教員】 電気自動車、紙笛、空気鉄砲の実験などをおして、理科の楽しさや不思議さを実感しました。</p> 	<p>&lt;会場の様子&gt;</p> 

## 5 参加スタッフ

運営協力教員（ボランティア） 30名 戸田市理科教育研究部会 11名  
戸田市理科支援員 11名 計 52名（昨年度47名）

## 6 成果と課題

### 【成果】

- ・ 参加者が児童生徒600名、保護者等556名、計1,156名となり、過去最多となった。市内児童生徒及び保護者の理科に関する関心の高さを感じる。
- ・ 戸田市教育委員会が進めている「産官学民との連携」をさらに進め、多方面の企業、大学関係者、NPO等に継続して出展していただいた。また、新規のブースも設け、形骸化せず行うことができた。
- ・ 出展講座の講師からは、「子供たちの意欲が高く、戸田の学校の日々の指導を感じることができた。」「出展した側としてもやりがいがあった。」との声が多く聞かれた。
- ・ 子供たちからは、「とても面白かった。来年も参加して、違う講座をやってみたい。」などの意見が多く、とても楽しんで参加している様子がうかがえた。

### 【課題】

- ・ 中学校の全生徒にも案内を配布しているが、中学生の参加数が少ない状況なので、中学生への意識調査と中学生向けの講座について検討していきたい。
- ・ 来場者数が多く、大変混雑した。大きなけがなどはなかったが、来年度以降、フェスティバル全体の時間に幅を持たせたり、午前中と2回開催にしたりするなど、来場者を分散させる工夫が必要である。





## 平成30年度事業報告

## ● 入館者数 ●

## 彩湖自然学習センター

月	常設展			月	常設展		
	入館者数	開館日数	1日平均		入館者数	開館日数	1日平均
4	1,817 <sup>(人)</sup>	28 <sup>(日)</sup>	64.89 <sup>(人)</sup>	10	1,438 <sup>(人)</sup>	28 <sup>(日)</sup>	51.36 <sup>(人)</sup>
5	2,091	28	74.68	11	1,748	27	64.74
6	1,543	28	55.11	12	1,208	27	44.74
7	1,570	27	58.15	1	1,271	25	50.84
8	2,071	28	73.96	2	1,366	26	52.54
9	3,125	29	107.76	3	2,691	29	92.79
合 計					21,939	330	66.48

## 彩湖自然学習センター

展示種別	展示名称	観覧者数 参加者数	展示期間
彩湖自然学習センター 写真パネル展	「彩湖・自然にカシャッ！」（会場：彩湖自然学習センター）	—	4/1～5/8
	「彩湖・自然にカシャッ！」（会場：イオン）	—	10/13
	「彩湖・自然にカシャッ！」（会場：彩湖自然学習センター）	—	31. 3/1～3/31
彩湖自然学習センター エレベータ展示	「今月の彩湖」	—	月毎に展示替えを実施

## ● 教育普及事業 ●

## 彩湖自然学習センター

講座等種別	講座等の名称	回数	参加者	実施日
一般対象講座	「春の自然観察会」	1	24人	30. 4/22
	「食べられる野草」	1	25人	30. 4/28
	「昆虫ウォッチング 夏」	1	38人	30. 7/15
	「昆虫ウォッチング 秋」	1	44人	30. 9/16
	「彩湖でお月見」	1	30人	30. 9/22
	「ネイチャークラフト」	1	27人	30.10/28
	「いきもの探検隊：秋」	1	29人	30.11/25
	「春の七草がゆ」	1	21人	31. 1/12
野鳥観察会 (市民大学認定講座)	「彩湖周辺の野鳥 初夏」	1	33人	30. 5/13
	「彩湖周辺の野鳥 初冬」	1	12人	30.11/17
	「彩湖周辺の野鳥 真冬」	1	19人	30.12/ 9
	「彩湖周辺の野鳥 厳冬」	1	16人	31. 1/13
	「彩湖周辺の野鳥 晩冬」	1	17人	31. 2/10
親子対象講座	「ザリガニつり体験」	1	中止	30. 7/28
	「夜のいきものたち」	1	39人	30. 8/10
	「笹目川で投網体験と生きものさがし」	1	21人	30.10/ 6
	「オギのミミズクづくり」	1	27人	30.11/11
	「木の実を使ったリースづくり」	1	24人	30.12/ 8
	「和風をつくろう」	1	16人	30.12/15
	「秘密の基地づくり」	1	36人	31. 1/20
	「竹をつかったものづくり」	1	21人	31. 2/17
星空観察会	「夏の星空」	1	32人	30. 8/25
	「冬の星空」	1	29人	31. 1/27
こども対象講座	「はらっぱであそぼう」	1	24人	30. 5/ 6
	「昆虫標本をつくろう」	2	11人	30. 7/ 26.8.18
こども自然クラブ	「結団式, ミニ彩湖探検隊」	1	23人	30. 6/ 3
	「昆虫採集」	1	22人	30. 7/ 8
	「水の中の生きもの調べとつり体験」	1	23人	30. 9/ 2
	「ひみつの基地づくり」	1	23人	30.12/. 2
	「つくろうネイチャークラフト」	1	22人	31. 2/ 3
	「ネイチャーゲーム, 解散式」	1	25人	31. 3/ 3
彩湖☆わくわく 2Days	「ネイチャークラフト」	-	126人	30. 8/ 4 ～ 8/ 5
	「微生物観察」			
	「スライム」			
	「日時計づくり」			
	「チョウをとばそう」			
	「どんぐりつかみ」			
	「ぬりえ」			



## ● 博学連携事業 ●

## 彩湖自然学習センター

博学連携事業の名称	実施期間	実施回数	参加者数
小学3年生彩湖自然学習センター授業（自然体験学習）	30. 8/29～30. 9/27	13回	1,378人
彩湖サイエンスサポートプログラム（出張授業・教材提供）	30. 4/25～31. 1/24	19回	1,622人
彩湖自然学習センター活用検討委員会	-	- 回	- 人
教員5年経験者研修における社会貢献活動体験研修	30. 8/2～3	2日	4人
中学生社会体験チャレンジ事業・職場体験研修	30. 12/4～6. 31. 2/5～7	2校/3日	延べ18人